

議会だより

63 のとちょう

2021. 2. 1

12月定例会議	2-3
新たな組織体制	4
一般質問	5-12
議案をチェック	13
常任委員会レポート	14
主な議会活動	15
まちかどインタビュー 編集後記	16

能登の冬を

生きる

公共施設等総合管理基金^{※1}の ^{※2}の繰り上げ償還などを補正！

※1 今後の公共施設の適正な管理のため新たに設置する基金 ※2 町が国や金融機関などから借り入れたお金の返済に使われる費用

令和2年度予算総額を192億9267万9千円に



鵜川小学校の旧校舎



老朽化した旧内浦町健康福祉センター

令和2年第9回能登町議会12月定例会議を12月7日から16日にかけて開会し、町長提出議案26件及び諮問2件が提出された。議案は令和2年度の補正予算のほか条例改正、財産の処分、公の施設の指定管理者の指定のほか、諮問は人権擁護委員候補者の推薦、そのほか請願1件が上程され、各常任委員会により審査し全議案を可決及び適任、採択とした。

最終日に議会提出議案として意見書2件、能登町選挙管理委員及び補充員の選挙を提出したほか、議長の辞職願いに伴う議長選挙を行った。※新組織体制は4ページをご参照ください。

14日には8人の議員が町政全般について一般質問を行った。

主な補正予算

○議会費

- ・人件費の調整による減額

○総務費

- ・人件費の調整による減額
- ・今後の公共施設の適正な管理のため新たに公共施設等総合管理基金を設置し積立金を追加
- ・コロナ禍に伴い実施が困難となった事業を減額
- ・新型コロナウイルス感染症対策費で特別定額給付金事業の確定に伴う減額
- ・町長選挙費で公職選挙法の改正に伴う選挙運動公営費を追加

○農林水産業費

- ・鳥獣被害防止対策事業でイノシシ捕獲数の増加に伴う捕獲報奨金の追加
- ・中山間地域等直接支払事業で確定見込みによる減額

○商工費

- ・創業・継承支援事業の確定見込みによる追加
- ・新型コロナウイルス感染症対策費で事業費の確定見込みによる減額

○土木費

- ・河川費で確定見込みによる急傾斜地崩壊対策事業の減額

○消防費

- ・小間生分団詰所増築工事費の確定による追加

○公債費

- ・将来の公債費負担を軽減するために、減債基金を活用し繰上償還金を追加

その他の主な議案

条例の制定

能登町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の制定

財産の処分

「福光の堆肥センター」を「株式会社吉尾牧場」へ譲渡

人権擁護委員候補者の推薦

館 博之 氏 (瑞穂)
 川口 裕子 氏 (宇出津山分)

将来への負担を軽減するため、 積立や公債費

一般会計補正予算に8億37万7千円を追加し、

議会提出議案

能登町議会として意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣へ提出

- 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
- 大和堆で違法に操業する外国船の取り締まり強化を求める意見書

能登町選挙管理委員及び補充員の選挙

- | | |
|---------------|-------------------|
| ○選挙管理委員 | ○選挙管理委員補充員 |
| 國分 雅史 氏（宇出津新） | 第1順位 鍛冶 武司 氏（笹川） |
| 河崎 重宏 氏（真脇） | 第2順位 佐野 勝二 氏（宇出津） |
| 豊若 幸紀 氏（白丸） | 第3順位 池上 正博 氏（真脇） |
| 竹橋 尚 氏（北河内） | 第4順位 小畑 純夫 氏（松波） |



請願 『町道松波恋路1号線から体験施設ラブロ恋路へのアクセス道路の拡幅について』

- 要旨：ラブロ恋路は宿泊者及び地元入浴者が増えてきており、近年当該道路の交通量は増加傾向にある。今後、交通事故等が発生しないよう、道路及び入口付近の拡幅を要望する。
- 付帯意見：公益性と町行政の財政状況を鑑み、危険箇所を精査した上で、必要部分を段階的に拡幅すべきものとし採択する。

10月会議

令和2年10月28日に『令和2年第7回能登町議会10月会議』を開会し、町長提出議案として請負契約の締結について4件、議会提出議案として常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任、追加議案として副議長の辞職願いに伴う副議長選挙を行った。 ※新組織体制は4ページをご参照ください。

- 請負契約の締結
 - ・令和2年度道路メンテナンス事業町道1級鴨川上長尾1号線（孫三橋）A2橋台撤去新設工事
北能産業株式会社 代表取締役 福池 功
 - ・令和2年度学校施設環境改善交付金事業能登町立柳田中学校屋外教育環境（グラウンド）整備工事
鈴平建設株式会社 代表取締役 池崎 義典
 - ・令和2年度学校施設環境改善交付金事業能登町立宇出津小学校大規模改造（障害）工事（建設）
株式会社鼎建設 代表取締役 小間 望
 - ・令和2年度旧神野小学校解体工事
須美矢建設株式会社 代表取締役 中谷 宜章

11月会議

令和2年11月27日に『令和2年第8回能登町議会11月会議』を開会し、町長提出議案として4件の議案が提出され、いずれも人事院勧告による期末手当を引き下げのための条例改正を可決した。

新たな組織体制



能登町議会副議長 金七 祐太郎
(令和2年10月28日就任)

このたび、副議長という重責を担い、身の引き締まる思いであります。今年度から議会改革の一環として運用を開始しておりますタブレットを用いた議会運営を推進し、より効率的で開かれた議会となるよう努めてまいります。副議長として議長をしっかりと支え、町民の皆さまの代表として、町の発展のために全力を尽くしていきたいと思っておりますので、今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。



能登町議会議長 酒元 法子
(令和2年12月16日就任)

このたび、第9代議長に就任し、能登町議会として初の女性議長を仰せつかり、誠に光栄でありますとともにその責務の重さを痛感するところであります。昨今のコロナ禍における社会の先行きはいまだ不透明であり、議会の果たすべき役割は重大であります。町民の皆さまの負託に応えるべく、誠心誠意取り組んでいく所存でございますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

委員会の再編 (令和2年11月6日再編)

常任委員会は本会議から付託された議案や請願等の審査や、諸問題について十分に調査するため設置しています。議会運営委員会は、議会を円滑に運営するため、会議日程、議案等の取り扱い、議長からの諮問事項などについて協議するため設置しています。

常任委員会及び議会運営委員会の委員の任期は、条例により2年と定められています。

● 教育厚生常任委員会

住民課・健康福祉課・教育委員会・公立宇出津総合病院の所管に属する事項。



委員長
市濱 等



副委員長
吉田 義法



委員
馬場 等



委員
金七 祐太郎



委員
向峠 茂人



委員
宮田 勝三



委員
鍛冶谷 眞一

● 総務産業建設常任委員会

総務課・企画財政課・税務課・会計課・農林水産課・建設水道課、ふるさと振興課、農業委員会の所管に属する事項及び他の常任委員会に属さない事項。



委員長
小路 政敏



副委員長
堂前 利昭



委員
田端 雄市



委員
國盛 孝昭



委員
酒元 法子



委員
河田 信彰



委員
志幸 松栄

● 議会運営委員会

委員長 國盛 孝昭 副委員長 金七 祐太郎
委員 田端 雄市 市濱 等 小路 政敏 向峠 茂人

※広報編集特別委員会の委員長に鍛冶谷眞一委員が就任しました。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

12月定例会議の一般質問（14日）



馬場 等 議員

問 令和3年度の予算編成方針を問う

答 引き続きマイナスシリーングを行う

問 コロナウイルス感染症による税収（給与）の減収、地方交付税（親からの仕送り）の減少、また地方債残高（借金残高）の規模、公債費（ローンの増加等）を考慮すれば、令和3年度の予算編成でマイナスシリーングを行うべきでは。

答 町長 令和元年度に10年ぶりのマイナスシリーングを設定し、令和3年度の予算編成まで引き続き行っている。令和3年度の予算編成においては、義務的経費を除いた一般財源から1億円をシリーング目標として掲げ、各課の

（月間収入）		（月間支出）	
基本給与（町税）	5万	食費（人住費）	6万
家賃収入・ペット収入（分担金・負担金・使料・手数料）	3万	医療費・保育費（扶助費）	4万
貯金の取り崩し（繰入金）	8万	光熱水費（物件費）	7万
実家からの援助（地方交付税・国庫・県支出金）	34万	修繕費・増改築（投資的経費・維持経費）	23万
		子どもへの仕送り（補助金・特別会社への繰り出し金）	12万
月収合計	50万	貯金（繰入金）	0.4万
		借入金（町債）	14万
		ローン返済（公債費）	14万
収入合計	67万	支出合計	66万

令和元年度の能登町決算を月収50万円の家庭に置換えたら（借入金は修繕費・増改築の不足分）

※マイナスシリーングとは、予算の概算要求などにあたって、前年度より一定率を減じたものを要求限度とすること

事業内容を考慮しながら要求限度額を設定している。また、遊休施設の解体をシリーング外とするほか、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新しい生活様式の確立など未来へつながる事業や行政のデジタル化、そして今後の人口減少や職員数減を見据えた民間委託などについては、歳出特別枠として要求可能とする。

問 第3次能登町行政改革の実績は

答 経済効果9.8億円、職員数8名減

問 自主財源が類似団体と比べ少ない能登町が、持続可能な町として残るには、身の丈にあった財政規模まで縮小する必要があると思う。そのためには、徹底した行政改革が必要である。平成27年から平成31年にかけて行われた第3次能登町行政改革の実績は。また、評価はどこでどのように行われたのか。

答 町長 実績については、成果指標9.7億円に対し、実績は9.8億円。定員管理では職員数18名減に対し、8名減である。職員数10名の差というのは、障害児保育の対応などのため保育士を増員したことや、本庁方式への移行に当たり、行政サービスの維持を図るため柳田、内浦両総合支所の人員を確保したものの。また評価については、能登町行政改革推進本部で行い、町長が本部長、副町長・教育長が

副本部長、本部長として各所属長が構成し、実績評価を行った。

問 その他質問

マイクローリズムを導入する考えは

マイクローリズムとは、自宅から1時間の移動圏内の「地元」で観光する近距離旅行の形態である。マイクローリズムを奥能登2市2町で導入することは、地域経済に貢献し、近隣の魅力の再発見にもつながる。ウィズコロナ時代の新たな旅行の取り組みとして導入する考えはあるか

答 町長

コロナ禍における新たな旅の形である。広域的な観光誘客から、地元住民による消費の転換を図っていく必要があると思うが、マイクローリズムを強力に推奨していくには、まだまだ弱い。奥能登2市2町の協力を得て地元での観光について検討し、域内循環による地域経済の活性化につなげたい。



吉田 義法 議員

問 町有遊休施設の処分状況を問う

答 順次、遊休施設の解体を進める

問 少子高齢化により人口減少がさらに進むことが予測されている中、施設の維持管理や改修、改築費用などの負担軽減を図る必要がある。特に、遊休施設は負の財産であり、速やかに解体し将来に残さない事が重要である。

① 町民一人当たりの町有施設延床面積は。

② 譲渡や解体などの目標値や計画に対する進捗

答 状況は、処分する施設は。

③ 漆原浄水場は遊休施設か。必要ないのであれば速やかに解体すべき。

答 企画財政課長

① 平成30年度のデータでは町民1人当たり11・79㎡。県平均4・75㎡の約2・5倍で県内最高。町村合併が主な要因で集会所やセレモニーホールを保有してい

ることや、体育施設や小規模校が多い事が考えられる。

答 町長

② 令和8年度までに延床面積を20%、約4万㎡削減する目標を設定し解体など順次進めているが、新庁舎、総合支所などの建設が重なり増加している。今年度は旧能都庁舎や旧内浦クリーンセンター、来年度は旧鶴川小学校などを解体する予定である。

③ 漆原浄水場は休止してから13年経過している。廃止のためには、配水管などの移設・撤去工事等多額の費用がかかる試算である。跡地利用も検討し検討する。



老朽化が著しい旧漆原浄水場の門扉



能都中学校

問 中学校の再編を問う

答 統廃合は避けては通れないが…

問 近年は著しい少子化により生徒数が減少しているにいたり、中学校の再編を図り小規模校の弊害を改善すべきと考える。

① 能登町小中学校適正配置方針からみて、中学校の現状は適正といえるか。

② 統廃合は避けて通れないと考えるが、統廃合を進めるための具体的な考えや計画、現在行っている事業はあるか。

③ 昨年、小木小学校の児童の保護者を対象に実施したアンケート調査の結果をみての考えは。また、検討委員会や協議する場などを設けたか。

④ 今年度中に中学校の統合に関する検討委員会の開催を求める。

答 教育長

① 適正規模は、1学年20人以上で仲間と協力し活動ができ、教育活動に制約が生じず、複数の部活動から選択でき

る規模を目指している。適正配置については、旧3町村を基本とし、通学時間を1時間とする。15クラス中20人以上の学級が9クラスあり過半数を超えているが、適正とはいえない。しかし、今のところ、これ以上のことはできない。

答 町長

② 統廃合は避けては通れないという考えは変わっていないが、具体的な計画や事業は行っていない。

③ 統廃合についての検討委員会や協議する場合は設けていない。

④ 統廃合は避けては通れない道だ。

吉田議員

配置は適正ではない事を認め、統廃合は避けては通れないと回答しているが、町は何の手立ても講じていない。今後中学校の再編を求める。



田端 雄市 議員

問 デジタル社会への取組みを示せ

答 多岐にわたるデジタル化を進める



オンライン申請（イメージ）

問

政府が進めるデジタル社会のイメージをどう描いているか。メリットがあるならば、さらなる周知を進めるとともに、高齢者などに対する登録支援に配慮した今後の取組みを示せ。

答 町長

地方においても、都市部と同じ情報通信サービスが利用でき、そのサービスにより行政手続きを

はじめ、日常生活などで住民が利便性を享受できる

社会をイメージしている。現在、児童手当など7項目がオンラインで行うことができるが、さらに多岐にわたる行政手続きの申請を検討する。令和3年3月には、マイナンバーカードが健康保険証として利用できることから、広報誌など周知を図っていくとともに、庁舎窓口での登録支援を行っている。利用願いたい。

問 公共施設にシルバー割引を望む

答 適切な実施を検討したい

問

町の人口の半分が高齢者となった。高齢者を町の資源としての視点を持てば、新たな活性化を生む価値となる。多様な公共施設の利用に対し、シルバー割引により負担を軽減し、出歩きしやすい環境をつくったらどうか。

答 町長

割引制度の実施により、町内外から、平日の施設の利用が活発になり、周辺の地域経済の活性化も期待され、メリットが多い。県内の状況や各施設の利用状況などを勘案し、施設の所管課に検討させたい。

問 その他質問

不妊治療者の交通費の助成を求む

町内には、年に8〜10人が不妊治療を受けている。特定不妊治療の医療機関の受診は、県内4か所、金沢、小松である。治療には、5回〜6回程度の通院が必要となり、その交通費も高額となる。政府の保険適用など合わせ、町には、対象者の

負担軽減につながる交通費の助成を求める。

答 町長

制度改正の動向により検討する

特定不妊治療に係る通院交通費の助成を実施しているのは、全国で4府県である。政府は、保険適用の方向性を示しており、今後の制度改正の動向を見ながら検討していきたい。



金七 祐太郎 議員

問 関係人口の創出の取り組みは

答 ワーケーション誘致を進める

①近年、「関係人口の創出」という言葉を耳にするようになった。また、「ワーケーション」も最近よく聞く。「ワーケーション」は関係人口創出にもつながると思うが、町の取り組みは。

②能登町では、まだリサーチ段階だと思うが、ノウハウや知見のない中、また先行自治体との差別化を図る取り組みは。

③今後、この取り組みで事業費が大きくなると予想されるが、財源の見込みは。また、この事業に取り組むことで

どのような効果があるのか。

答 町長

①ワーケーションは、都市部の社会人を呼び込み、新たな交流人口の拡大と、そこから関係人口の創出につながるものである。当町では、「ワーク」については真脇ポーレポーレにおいてテレワークができる場所の整備を進めている。「バケーション」については、これまでの観光に加えて、能登の暮らしを五感で感じ、関係人口創出につながり、ともに作り出す共創が生まれるプログラムに向けて、ニーズ調査を行っている。

②10月からANA、全日空が主催している「旅と学びの協議会」に参加している。また、地域おこし企業人交流プログラムを活用し、企業からの専門人材を受け入れる。

③企業版ふるさと納税の寄附が受入れできるようになり、これを活用していきたいと考えている。また、内閣府の地方創生推進交付金についても申請の検討をする。効果については、交流人口の拡大からの関係人口創出に加えて、企業連携などからのサテライトオフィスの誘致を目指して進めていきたいと考えている。



イカの駅つくモール遊覧船

問 防火水槽用地の固定資産税減免は

答 町会区長会を通じ周知する

①平成30年3月議会での一般質問の答弁で防火水槽用地の内、固定資産税が課税されている土地が169筆あると聞き、減免申請にて固定資産税を減免することだったが、なぜ減免がすすまないのか。

答 総務課長
防火水槽の用地の提供に関しては、各町内会長を通じて土地所有者の同意を取り付けて行っている。今後、減免申請を進めるために用地提供の同意を取り付けた町会区長会を通じて申請手続に関するの周知を図る。



市濱 等 議員



松くい虫防除薬剤空中散布

問 松枯れ対策と 景観地保全是急務だ

答 森林環境譲与税の活用検討、
薬剤散布伐採等に対応する

問 松くい虫被害が著しい、松茸山、景観地保全是急務だ。対策について、予算はどれくらいか、防除対策はどのようにおこなわれているのか、被害松はどのように処理されているのか、当町として今まで実施した効果についてどう見ているのか、今後新しい対策はあるのか。

海岸線自然景勝地は能登町観光の根幹を形成するものだが、至る所、景勝地の松枯れは進み、屍をさらしている。景観が台無しだ。現状の把握、今後の対策を聞く。

答 町長・農林水産課長 予算は2千720万円、薬剤空中散布、人力で行う地上散布、薬剤樹幹注入・伐倒処理で対応している。今後はドローンの活用も検討する。観光地被害は巡視員を任命し対応しているが、伐採等の対策は必要だ。森林環境譲与税は県森林部の意見他の事例も検討し森林保全のため活用の道を探る。

問 指定管理制度評価基準を設けよ

答 見える化をを図る。評価基準は検討

問 収益性のある指定管理先の評価の方法が曖昧で、議会に上程されても執行の判断のみで、進行されることが多い。管理状況、評価報告書、将来展望意見書等付した議案になるか。

ワインの醸造権、その当該設備、大粒ブルーベリーの研究成果等を聞く。集会所、集落施設管理が不平等だと考えるが、町管理の一元化が必要だと思う。改善は出来るか。

答 町長 指定管理選定委員会の意見を聞き提案している。経営状況の決算書、継続性安定性など適格性の見える化を図ることも大切だ。評価基準は検討する。ワイン醸造権、設備は令和2年4月から数馬酒造に使用許可を出した。ブルーベリー研究は優良品種選抜中だ。集会所と並列にしてひとくくりに管理することに関しては、非常に難しい面がある。



堂前 利昭 議員

問 道の駅桜峠の拡充を図れ

答 国や県と連携し、必要な整備を検討

問 能登町の玄関口であり、唯一の道の駅桜峠の質問をする。

県土幹線軸珠洲道路の整備要望区間である能登町字当目で急勾配の上り坂と下り坂が連続している道の駅桜峠付近の当目地内1.2kmにおいても、今年度より新たにゆずりレインの整備に着手しているが、これに伴い県との連携を図り、能登町の玄関口である道の駅桜峠を全面的に整備してはいかがか？

① 上水道を整備せよ。
② 駐車場を広げよ。
③ 防災機能を備えた道の駅にせよ。



道の駅桜峠

答 町長

① 現時点において、町での上水道整備は困難だが、隣接する珠洲道路で改良工事が計画されており、例えば、井戸等に何らかの影響が生じる事となった場合には、石川県と協議して対応する。

② 昨年までにトイレ改修に合わせ、駐車スペースの見直しを行い、大型2台、普通車3台分を増設したところであり、当町としては駐車場の利用状況を注視したい。そして、今後電気自動車の需要が高まり、設置の必要が生じた際には、施設所有者である石川県と協議し、設置について検討していく。

③ 桜峠は能登町の地域防災計画で、救援物資の受入体制において物資輸送拠点施設に指定されている。災害時の重要な施設として位置づけられている。このことから、今後も国や県との連携を推進し、情報共有を図るとともに、必要な整備を検討していく。

問 公的宿泊施設の今後の計画を示せ

答 施設ごとの今後の方針を検討

問

ふれあい公社が、指定管理を行っているうしつ荘、やなぎだ荘、真脇ポールポール、ラブリオ路の4施設に絞り質問する。

国民宿舎能登うしつ荘

は48年、国民宿舎やなぎだ荘は44年が経過していることから今後、財政負担の増加が懸念される。

① 宿泊施設（4施設）の今後の統廃合の計画はあるのか。

これらを総合的に判断しながら施設ごとの今後の方針について検討する。

② 宿泊施設の建て替え計画を示せ。

策としてGo Toトラベルキャンペーンや県民応援宿泊割キャンペーン、能登町プレミアム商品券、飲食券などを実施しており、各事業者は売上につながる努力を行っているところである。今月からは、冬季限定宿泊助成事業やレンタカー助成の上乗せ事業を行うことで、年間を通して宿泊客の落ち込みを食い止め、当町への誘客策を開始している。自主的な取り組みによる売上拡大を行っている。

③ コロナ禍のなか、公社、施設の売上拡大の一手をどう考える。

答 町長

① 宿泊施設に限定している計画はない。

② 基本的な方針は長寿命化を計画的に図りながら、改修、修繕、建て替えを行うものとしているが、当町の規模、配置を考慮し、総量を適正化したものとする。この基本方針に沿った形で実施していく。



鍛冶谷 眞一 議員

問 役場跡地の展望デッキ構想を確認

答 デッキは造る方向、内容は検討

問

①令和2年6月の定例会議でも質問したが、展望デッキは造るのか。

②6月に整備計画、整備イメージ図、整備スケジュールの3枚のシートを配布したことで、議会への周知をしたこととするのか。

③町長の具体的な構想を示せ。

答 町長

①6月定例会議では、

役場跡地の利用計画について、展望デッキ及び公衆トイレ、倉庫棟を有する管理棟を、イメージパースを利用して説明した。

展望デッキは造る方向で計画している。観覧席は120席になるのか200席になるのか、意匠により今後検討する。

②3枚のシートを利用して説明したが、予算的なことも含めて、これで議会に周知したとは考えていない。パブリックコメント等も参考にして、整備内容については来年度に基本計画の策定を予定しており、素案が出来次第、議

会に提示したい。

③町長としての私の思いは、町民の皆様が集い憩える施設にしたい。また、雨天時でもイベントに活用できる交流の場や観光資源としても使いたいと考える。今後いろいろな案がでてくれば対応したい。



解体工事が進められる旧能都庁舎

問 新型コロナ対策予算の執行状況は

答 感染防止と共に経済対策も支援



志幸 松栄 議員

問

① 新型コロナ対策として漁業継続支援緊急対策給付金の執行内容は。

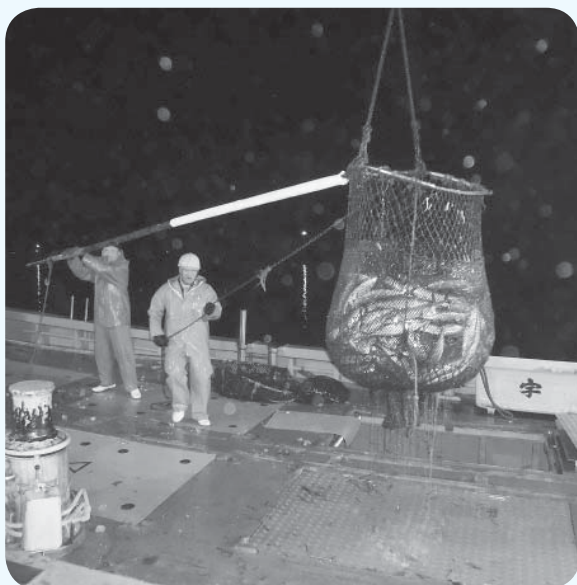
② イカの駆つくモールでの大型モニユメントとは。

③ 超能登町祭の中止については。

④ 第三弾としてコロナ対策案はあるかどうか問う。

答 町長

① 漁業関連支給付金では、12月末での執行予定として51件で2千万円強、第一次産業の活性化なくして能登町の発展は越えるため頑張っている。



漁業継続支援緊急対策（イメージ）

② モニユメントは遊具機能を持たせ、九十九湾の景観の中で、町民や観光客、特に若者や子どもに親しまれることを目的とするもの。

③ 超能登町祭については、実行委員会において中止等の意見が大多数であったため、その場で中止を決定した。

④ 次のコロナ対策案としては、国の追加配分がある場合、交付金の内容を考慮し、新たな対策を講じていきたい。

問 窓口事務行政手続きの改革は

答 住民サービスの維持を

図っていく

問

行政手続きの押印省略の実施目途はどうか。また、職員の在宅勤務、時差出勤の現状と効果について問う。

答 町長

押印省略の件について、国、県においても押印の見直しや、一部の押印を廃止する方針が示され、当町としても全庁的な押印の省略や廃止を早急に進め、町民の手続きの簡素化が出来るように取り組むたい。

また、在宅勤務は今年の7月から、時差出勤では3月から本格的に実施し、延べ1千500日弱行っている。分散勤務を行うことにより、感染防止対策として一定の効果があると考えている。今後も住民サービスの維持向上を図っていく。



議案をチェック

12月定例会議の議案質疑

岡田端 雄市 議員

病院事業会計補正予算
について、オンライン資格
確認等システム導入費
は、町民の生活と関わる
具体的な説明を。

宇出津総合病院事務局長
総務省及び厚生労働省
で進めているマイナバン
カードに健康保険証の
情報を載せるもの。病院
側では、顔認証付カード
リーダーと電子カルテ等
の改修を行う。

健康保険証の情報をマ
イナンバーカードに載せ
ると、新患の方は、受付
がスムーズにできること
に加えて、医療費が高額
になった場合の負担限度
額の適用認定が可能にな
り、窓口でその分を差し
引いた支払いで済むこと
などがメリットとなる。

岡市濱 等 議員

地方自治法241条第
1項では、特定の資金を
積み立て、運用することな
るに基金を設けることな
っている。また、第3項
では、基金を設けた場合
その目的でなければ、こ
れを処分することができ
ないとなっている。今回
の場合、趣旨・目的の違
う基金であり、事業が執
行されていない、検討も
されていないだろうとい
う事業基金、これを一本
にすることは許されるの
か。

企画財政課長

基金の条例の一部を改
正する条例の中身は、基
金の統廃合について提案
した。現行の建設基金の
廃止と、新たに公共施設
等総合管理基金を設置す
るものである。本庁舎・

岡市濱 等 議員

公の施設の指定管理者
の指定について、指定す
る上で、具体的な数値や
経過状態、今後の目標値
などが判然としない。海
洋深層水施設では、ふれ
あい公社の経営状況説明
書類はあるが、農林産物
加工施設の柏木センター
と上町センターについて
は、資料が皆無である。
何を基準に審査をすれば
いいのか。

農林水産課長

柏木センターについて
は、農事組合法人「のと
夢づくり」は地元の方々
で組織され、そこでずつ
と運営、管理をしている。
この指定管理者の選定に
当たっては、委員会に収
支等に関する資料等を提
出し説明をしている。
上町センターは、名称

が変わった。これは農林
産物総合センターで、数
年前までは柳田食産とい
う会社がブルーベリーの
買い取りから商品の製造、
販売を行っていた。収支
に関する書類等をふれあ
い公社から提出をしてい
ただいて、同様に審査を
経ている。

町参事兼ふるさと振興課長

能登海洋深層水施設は、
県内唯一の施設で、飲料
水、原水、脱塩水、濃縮
水及び塩の品質管理と安
定供給を基本とし、その
業務は、窓口の受付、蓄
養施設の運営管理、海洋
深層水の利用促進のPR、
施設及び設備等の維持管
理と修繕、総合的な管理
に関する業務をしていた
だくものである。
設置してから15年が経
過。これまでは営業施設
として3年間で指定をし
ていたが、次期指定管理
からは管理施設として5
年間の指定管理期間とし
ている。

岡市濱 等 議員

指定管理について
企画財政課長

能登町公の施設におけ
る指定管理者の指定手続
等に関する条例で、議会
の議決を経て指定管理者
を指定することを規定し
ている。
第4条で、町長は、指
定管理者の公募を選定す
るときは、選定委員会の
意見を聴かなければなら
ないと規定しているが、
性質上、必要がないと認
める場合にはこの限りで
はない。具体的には、集
会所など町内会での継続
であれば選定委員会の中
で審議対象にはしなくて
もよいものもある。

岡馬場 等 議員

庁舎建設基金、総合保
健センター建設基金、生
涯学習施設整備基金、こ
の金額全て公共施設等総
合管理基金の方に組み替
えるのか。

企画財政課長

3基金のトータルでは、
約8億5千万円近くを取
り崩す。

岡向峠 茂人 議員

個人番号カードは、全
国的には3割前後の普及
率と聞く。町では何割交
付されているのか。この
交付事業が伸び悩んでい
るその原因はどこにある
のか。

住民課長

10月末現在で、交付は
2,884件、交付率は
17.4%です。伸び悩み
の原因は、高齢化と活用
の認識が薄いのではない
かと思われる。

建設委員 総務産業委員会

小路政敏 (委員長)
堂前利昭 (副委員長)
田端雄市 國盛孝昭
酒元法子 河田信彰
志幸松栄

地方債の補正の荒廃地復旧事業について、柿生地内とこのことだが具体的な内容について説明を求めます。

箇所は柿生地内の吉谷の神明神社の近く。人家の裏山が崩壊したもの。工法は、30mの区間で法枠工を施工、面積は約26㎡。人家の裏山が豪雨で崩壊し、それを復旧するものである。

商工費の創業継承支援事業について、これは新聞に掲載していた開業支援のことか。

そのとおり。創業継承支援事業に806万1千円を追加する。当初は3件の見込みで900万円を当初予算で計上していたが、創業継承支援事業の申請者が増え、実績見込みとして6件が申請されるため、補助額の追加を行うもの。

ちなみに記事をみると開業が多かったみたいだが、継承はあるのか。

ほとんどが開業である。継承はなかなか出てきていないのが現状である。

消防費の工事の内容を問う。

小間生分団の詰所増築工事だが、工事費が増額になったもの。現在の詰所待合室は約10畳であるが、建設当時では分団の団員数に匹敵したと思うが、年々分団の団員数が増え、10畳の待合室では狭いということ、10畳分の増築工事を実施するものである。

「能登町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例」の説明資料に、運送事業者と契約する場合同と運送事業者以外と契約する場合とあるが、普通は運送事業者以外と契約する形となっていると思う。運送事業者とは専門に運転してくれる人のことか？

一般的には言われたような個別契約、支払いとなっているが、運送事業者との契約も可能である。

新型コロナウイルス感染症対策費、雇用維持奨励金の150万円については、雇用調整助成金を申請した人に支給するというものか？

国の雇用調整助成金の申請に対し、町は雇用維持奨励金で申請者に対して一律10万円を助成するものである。助成金の申請はハローワーク能登を経由して行う。国では申請期間が延長され、能登町内の事業者ではハローワークに対して10月末まで29件の申請があり、能登町に対しては21件の申請があった。今後の見込みとして約30件分の申請とのこと、当初は15件で150万円に対し、これに補正で15件分150万円を追加して、実績見込みである30件で300万円とするものである。

中山間直払いの減額について説明を求めます。

中山間地域等直接支払事業1862万4千円減額の件になるが、要因の1つは今年度から制度が変わり、8割単価を10割単価にすることができ、それにより加算金が多くなるのだが、10割単価を採用するには集落戦略を作成する必要がある。

中山間地域等直接支払事業1862万4千円減額の件になるが、要因の1つは今年度から制度が変わり、8割単価を10割単価にすることができ、それにより加算金が多くなるのだが、10割単価を採用するには集落戦略を作成する必要がある。



請願場所の現地調査

説明会などで担当者から集落に説明を行ったが、躊躇され想定よりかなり下回った。10割単価になるとさらにプラスしているいろいろな加算金がつくということもあり、それに伴って大きな減額となった。

新設3号「町道松波恋路1号線から体験施設ラブリオ恋路へのアクセス道路の拡幅について」

請願内容については、改良延長が140mとなっているが、ほかの委員の意見では、全体の改良ではなく、2か所のカーブを削って見通しをよくしてほしいとあった。

請願を受け取り、町として現地確認を行い、執行部が執行する側として事業内容を判断する。全体計画は140mであるが、改良の必要な箇所は2か所程度という判断で実施する方向でよいと思う。

教育厚生委員会

市濱等 (委員長)
吉田義法 (副委員長)
馬場等 金七祐太郎
向峠茂人 宮田勝三
鍛冶谷眞一

マイナンバーカードの「オンライン資格確認等システム」と健康保険証との関連について説明せよ。

現在お持ちのマイナンバーカードであれ、これから新たに申請されるマイナンバーカードであれば、希望すれば、1枚のカードで健康保険証としても登録され、使えるようになるというシステムである。ご希望の方は、パスワードも必要になるので、窓口までお越しください。

少子化対策事業「すこやか赤ちゃん祝い金」の追加実績を聞く。

当初予算で、61人分の赤ちゃん誕生を見込んでいたが、実績見込みにより8人分の赤ちゃん祝い金を追加計上した。なお、11人分として補正したのは、増加予備として



さらに3人分見込んで計上している。

スクールバスの委託契約が令和2年10月から令和5年9月までの長期契約に変更となった。その経緯と、理由を説明せよ。

スクールバスの委託契約は指名競争入札で業者を決定している。これまでのように1年おきの入札では、ドライバーの確保や、養成・育成に支障をきたす面もあったと考え、委託契約を見直した。

安定した運営、運行が児童・生徒の安全確保につながると考え、3年の長期継続契約に変更した。

◎その他について

12月7日に新型コロナウイルス感染者が出たが、町民の間では色々な情報が飛び交い、大きな不安を抱かせた。

町民の安全、安心を守るためにも、対応策を含め、正しい情報を早く知らせるべきだ。

対策委員会を当日午後5時に実施した。公表については、県と連携しながら、協議し対応した。

10月から12月の主な議会活動

- 10月4日 能登町総合防災訓練
- 10月13日 石川県町村議会議長会臨時総会・議長協議会（地場産センター）
- 10月15日 奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会（珠州市）
- 10月20日 広報編集特別委員会
- 10月22日 柳田総合支所落成式
- 10月28日 議会運営委員会・全員協議会・第7回能登町議会10月会議
- 10月29日 石川県町村議会議長会臨時総会（地場産センター）
- 11月5日 宝達志水町議会行政視察（来町）
- 11月25日 能登地区町議会連絡会視察研修（26日）
- 11月27日 議会運営委員会・全員協議会・第8回能登町議会11月会議
- 11月27日 タブレット議会研修会
- 11月30日 石川県町村議会議長会議長協議会（地場産センター）
- 12月3日 議員全員協議会
- 12月7日 第9回能登町議会12月定例会議（議案上程）
- 12月8日 各常任委員会
- 12月14日 第9回能登町議会12月定例会議（一般質問）
- 12月16日 議員全員協議会・第9回能登町議会12月定例会議（採決）
- 12月21日 奥能登市町議会議長連絡協議会研修会（珠州市）



タブレット議会の視察に訪れた宝達志水町議会

令和2年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名												
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三
02/10/20	広報編集特別委員会	○	欠	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	欠
02/10/28	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	欠
02/10/28	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/10/28	10月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/11/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	○	○	-	オ	○	-	-
02/11/27	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/11/27	11月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/11/27	タブレット議会研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/12/03	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/12/07	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/12/08	各常任委員会	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	欠
02/12/14	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
02/12/16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠
02/12/16	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠



インタビュー

今回のまちかどインタビューは、久田船長顕彰会会長の河合元一さんです。

（インタビュー 馬場 等）

◆久田船長顕彰会の歴史と活動について教えてください。

（久田船長は自らの命を顧みず、乗員の命を救った青函連絡船東海丸船長です）

昭和8年久田船長建碑会が青年有志で組織され、昭和9年9月に石碑の除



河合元一さん

幕式があり、建碑後、船長を偲ぶ碑前祭が毎年行われるようになりました。昭和12年小学校国語読本巻十に登載されると、碑前に奉告の祭典が行われ、子どもによる朗読も毎年行われるようになりました。戦後、昭和25年までは、学校教育も混乱期で子どもの参加は無かったものの、10月29日には毎年、赤いのぼり旗が立ちました。碑前祭は休んだことがなく、今回で18回となりました。毎年の碑前祭と十年毎の記念祭を、永きに顕彰を続けることができたのは、地区の方々と公民館のおかげです。昭和49年以前は公民館の助成で祭典を行っていましたが、昭和49年10月に新しく改組した久田船長顕彰会となつてからは、地区の皆さんから会費を納めていただき、祭典を行っています。

◆久田船長碑前祭の内容は。

毎年10月29日前後に執り行われます。祭典は神式で執り行われ、当日早朝に日本郵船、東京商船

大学（現、東京海洋大学）日本殉職船員顕彰会から寄進の流旗を立てます。10年祭には7本立てます。修祓・降神・斎主祝辞・朗読国定教科書巻十（鶴川小学校5年生代表2名）・玉串奉奠・唱歌「久田船長」（全員合唱）・昇神で終了となります。

◆久田船長碑前祭と児童の関わりは。

現在は鶴川小学校5・6年生が参列しています。（以前は鶴川小学校4・5・6年生と鶴川中学校1・2年生が参加していました）5年生の児童が国定教科書巻十「久田船長」を全員で朗読練習を行い、児童たちが祭典で朗読する代表2名を選んでいるとのこと。担任の先生が朗読指導をされています。

また唱歌「久田船長」は校内で練習しています。鶴川小学校の先生方に快く協力いただき、心から感謝しております。

◆児童たちに伝えたいことは。

鶴川小学校の教育目標

になつている「知」「徳」「体」にふさわしい人が鶴川にいます。「知」の原勤堂先生、「徳」の久田佐助船長、「体」の第6代横綱阿武松緑之助であります。鶴川小学校を卒業した児童たちが世に出た時に、私の地区は3人の偉人が生まれ育つた所だと誇りを持って生きてくれることを願っています。

◆久田船長顕彰会の課題は。

現在、石碑の題字及び面の欠落がひどく、早急の修復が必要であり、理事である鶴川地区区長の皆さんと話し合いをしている状況であります。人口減少による会費の減少など資金面の問題もあり皆さんの知恵を借りながら出来るだけ早く修復を行いたいと思います。



久田船長碑前祭

次の定例会議は3月5日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

久田船長顕彰会会長の河合元一さんから児童たちへ、生まれ育つたこの町に誇りを持って生きて欲しいとの言葉がありました。その為には、私達は先の世代に残すべき文化や伝統をしっかり守らなければなりません。その活動を率先して実践されている河合元一さんに、心から感謝を申し上げます。

（委員 馬場 等）

広報編集	
特別委員会	
委員長	鍛冶谷員一
副委員長	堂前 利昭
委員	吉田 義法
	馬場 等
	酒元 法子
	河田 信彰